

科目名	病理学 2 (概論)						年度	2026	
英語科目名	Pathology 2 (An outline)						学期	前期	
学科・学年	柔道整復科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	岡本純佳	教員の実務経験		有	実務経験の職種		医師 (病院勤務医)		
【科目の目的】 病理学を習得して柔道整復師が現場での適切な施術を行う基盤をつくることを目的とする。									
【科目の概要】 炎症や腫瘍等の基礎知識を学びます。									
【到達目標】 病理学の基本的知識が、柔道整復師にとって必ず習得しなければならないことであるのはいうまでもなく、日々進歩している医学・医療に対応できるように疾病の原因、経過、本態、他の疾病との鑑、治療効果などについて理解することが必要である。医療現場における施術の土台を形成することを目標にしている。									
【授業の注意点】 国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	充血・うっ血・虚血・出血について完全に理解している。	充血・うっ血・虚血・出血について大体理解している。	充血・うっ血・虚血・出血について部分的に理解している。	充血・うっ血・虚血・出血についての理解がやや不足している。	充血・うっ血・虚血・出血について理解していない。				
到達目標 B	血栓症・塞栓症・梗塞について完全に理解している。	血栓症・塞栓症・梗塞について大体理解している。	血栓症・塞栓症・梗塞について部分的に理解している。	血栓症・塞栓症・梗塞についての理解がやや不足している。	血栓症・塞栓症・梗塞について理解していない。				
到達目標 C	脱水症・高血圧症について完全に理解している。	脱水症・高血圧症について大体理解している。	脱水症・高血圧症について部分的に理解している。	脱水症・高血圧症についての理解がやや不足している。	脱水症・高血圧症について理解していない。				
到達目標 D	肥大・再生・化生について完全に理解している。	肥大・再生・化生について大体理解している。	肥大・再生・化生について部分的に理解している。	肥大・再生・化生についての理解がやや不足している。	肥大・再生・化生について理解していない。				
到達目標 E	創傷治癒・移植について完全に理解している。	創傷治癒・移植について大体理解している。	創傷治癒・移植について部分的に理解している。	創傷治癒・移植についての理解がやや不足している。	創傷治癒・移植について理解していない。				
【教科書】 教科書 (病理学-社団法人全国柔道整復学校協会 監修-) に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		病理学2 (概論)			年度	2026
英語表記		Pathology 2 (An outline)			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	循環障害①	血液の循環障害について。	1 充血とうっ血	充血とうっ血の各原因について理解する。	3	
			2 虚血の原因	動脈内腔の狭窄や閉塞によることが多いことを理解する。		
			3 出血の原因分類	破綻性出血と漏出性出血について理解する。		
2	循環障害②	血栓症について。	1 血栓症とは	生体の血管内で血液が凝固し、血管壁へ付着することについて理解する。	3	
			2 血栓形成の機序	血管壁の障害・血流異常・血液成分の変化について理解する。		
			3 血栓形成の部位	一般に動脈系より静脈系に多いことを理解する。		
3	循環障害③	塞栓症について。	1 塞栓症とは	血管内の異物が運ばれて小血管に詰まり血管腔を閉塞することを理解する。	3	
			2 塞栓とは	血流によって運ばれる異物であることを理解する。		
			3 塞栓の種類	血栓・空気・脂肪・骨髄・腫瘍などについて理解する。		
4	循環障害④	梗塞について。	1 梗塞とは	血栓や塞栓により動脈が閉塞して支配領域の組織・臓器が壊死状態となることを理解する。	3	
			2 梗塞の種類	貧血性梗塞・出血性梗塞について理解する。		
			3 梗塞の病態と経過	心筋梗塞と脳梗塞について理解する。		
5	循環障害⑤	リンパ液の循環障害について。	1 浮腫または水腫とは	いわゆる「むくみ」の状態について理解する。	3	
			2 浮腫の成因	血管透過性の亢進・毛細血管圧の上昇などについて理解する。		
			3 浮腫の病態	脳浮腫・喉頭浮腫・心嚢水症などについて理解する。		
6	循環障害⑥	脱水症について。	1 脱水症とは	体内水分量が減少した状態について理解する。	3	
			2 水分喪失による脱水症	水分摂取不足・多量の発汗・多尿による脱水症について理解する。		
			3 ナトリウム喪失による脱水症	下痢・発汗などによる体液の多量の喪失に水だけ補給して発生するものについて理解する。		
7	循環障害⑦	高血圧症について。	1 高血圧症とは	生活習慣病の1つであることを理解する。	3	
			2 合併症	動脈硬化症の促進・心肥大・脳出血・腎不全などの合併症について理解する。		
			3 分類	本態性高血圧症・続発性高血圧症について理解する。		
8	振り返り	前期1回～7回の講義の振り返り。	1 血液の循環障害①	充血・うっ血・虚血・出血について理解する。	3	
			2 血液の循環障害②	血栓症・塞栓症・梗塞について理解する。		
			3 高血圧症	定義・合併症・分類について理解する。		
9	進行性病変①	進行性病変の定義と肥大・過形成について。	1 進行性病変とは	肥大や過形成について理解する。	3	
			2 肥大の定義	仕事量の増大や過剰なホルモンの影響で組織や臓器の容積が増大することを理解する。		
			3 過形成	細胞数の増加、すなわち細胞増殖により起こることを理解する。		
10	進行性病変②	再生について。	1 再生とは	残存する細胞の増生により以前と同じ組織ができることを理解する。	3	
			2 再生能3種類	永久細胞・安定細胞・不安定細胞について理解する。		
			3 再生の代表例	胃潰瘍に見られる再生上皮について理解する。		
11	進行性病変③	化生について。	1 化生とは	正常分化した細胞・組織が何かの刺激で一旦消失後に他の細胞・組織に置換することを理解する。	3	
			2 上皮細胞の化生	腸上皮化生について理解する。		
			3 非上皮精細胞の化生	外傷性骨化性筋炎について理解する。		
12	進行性病変④	創傷治癒について。	1 創傷とは	皮膚や内臓器や組織の損傷や欠損について理解する。	3	
			2 創傷治癒とは	組織の治癒へ向かっての修復現象について理解する。		
			3 骨折の治癒	骨芽細胞・類骨・骨性仮骨・破骨細胞について理解する。		
13	進行性病変⑤	移植について。	1 移植とは	組織や臓器が欠損したり機能廃絶に陥った時、他から臓器組織を置換することについて理解する。	3	
			2 移植の分類	細胞移植・組織移植・臓器移植について理解する。		
			3 組織適合性からの移植の分類	自己移植・同種移植・異種移植について理解する。		
14	振り返り	前期9回～13回の講義の振り返り。	1 進行性病変とは	肥大や過形成について理解する。	3	
			2 再生とは	残存する細胞の増生により以前と同じ組織ができることについて理解する。		
			3 創傷治癒とは	組織の治癒へ向かっての修復現象について理解する。		
15	病理学2 (概論) のまとめ	前期病理学2 (概論) 全体の振り返り。	1 循環障害	血栓症・塞栓症・梗塞について理解する。	3	
			2 高血圧症	本態性高血圧症・続発性高血圧症について理解する。		
			3 骨折の治癒	骨芽細胞・類骨・骨性仮骨・破骨細胞について理解する。		

評価方法：1. 小テスト、41. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等